

「将来はF1ドライバー」カートレーサー 佐藤 充希



コース練習で得意のコーナーワークを磨く佐藤

音速の小学生 満タンの援軍

菅田北小

第一商事 ガソリン1年分サポート

△第一商事 1949年(昭24)創業。ガソリン給油などのサービスステーションを菅田、袋井に4店舗構えるとともに、LPガス、重油、ポイラー販売、コインランドリーなどを展開。菅田市出身で在任のB.M.X.ライター岡泰史に続くスポンサー契約で、今回のサポートで、佐藤のカートのフロント部分に会社名がプリントされる。



△第一商事の清水社長(左端)からガソリン1年分の支援を受けて笑顔の佐藤(中央左)。白のフロントに第一商事のロゴがプリントされた

エネルギー供給事業

菅田市出身で在任のカートレーサー 佐藤充希(11)が、今年目標の「日本一」に強力な援軍を得た。地元でエネルギー供給事業を行う「第一商事」が、ガソリン1年分をサポート。このほど菅田市内の同社で佐藤の父・友紀さん(47)、母・奈月さん(39)同席で贈呈式に臨み「とてもうれしです。感謝も込めて頑張ります」と意欲を新たにしました。

愛知・豊田の石野サーキットをホームに昨年はSL石野カートMシリーズのヤマハ・カデットオープンクラス3位、三重・鈴鹿でのSLカートミーティング全国大会18位などの成績を残した。今年は鈴鹿カデットオープン(CO)の年間王者とSLカートミーティング全国大会優勝を目指しており、7月下旬に鈴鹿CO第2戦を控える。第1戦は6位(出場27選手)で「うまくスタートできれば優勝できたと思うので、反省を生かしたいです」。日頃の体力強化やイメージトレーニングの成果を月に1、2度のコース練習でチェックしてレベルアップにつなげる。

スピード感魅せられ

レース中の最高速度は時速100キロ以上。スピード感や競り合いが魅力といい「将来はスーパーフォーミュラドライバーからF1ドライバーになりたいです」と目を輝かせる。

「第一商事」の清水聖也社長(46)は「佐藤選手の夢の実現を応援させていたくことで、豊田を盛り上げていくことができれば」と思いを込めた。

(小久保 克也)

「感謝込めて頑張る」全国大会優勝へフルスロットル

△カデットクラス 9～13歳対象
カート選手権はFPジュニアクラスとFPカデットクラスに分かれる。FPカデットクラスは対象年齢は当該年9歳(その年に9歳になる人)～13歳(その年に13歳に達した人)。資格はJAF公認カートコースでの20時間以上のスポーツ走行経験を証明できれば参加することができる。シャーシはジュニアドライバー専用の小さなサイズ(ホイールベース900mm以上950mm以下)。エンジンはキャブレターが吸い込む空気量を制限し、パワーを低め、タイヤもグリップ力を抑制した「SLJ」と呼ばれるものを使用する。